



発行 甲府市農業委員会
住所 〒400-8585
山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号
電話 055-237-1161 (内線7344)
055-237-5892 (直通)
FAX 055-227-8719
編集 甲府市農業委員会だより
編集委員会

菊島 和さん

栽培：レタス、
カリフラワー、
トウモロコシ、
ナス、米



躍動！女性農業者



村松 梢さん

栽培：モモ、
ブドウ、ナス、
スイートコーン

おもな内容

ページ

- 農地再生方針の概要・表紙写真について ……2
- 農業委員会からのお知らせ ……3
- 甲府市への意見書に対する回答 ……4
- 農政情報コーナー ……5・6

第74号

甲府市農地再生 方針について

農業者の高齢化や後継者不足などを要因として、農地の荒廃化が進み耕作放棄地が増加し、周囲の営農環境に影響を及ぼしております。

農地再生方針は、甲府市農業振興計画に示された基本方針「農地の保全と活用」の考え方に基つき、各地域での農地再生利用の方向性をより具体的に示す方針であり、甲府市の将来における生産農地の確保及び農地の荒廃の未然防止に努め、耕作放棄地の再生及び農地の保全に取り組むことを目的とします。

方針の策定にあたっては、平成29年度に耕作放棄地の現地調査を行い、現在ある耕作放棄地のうち、再生可能農地と今後耕作放棄地化が予測される農地の状況を把握しました。

さらに、平成30年度にその現地調査の結果をもとに、

各地域の農地事情に精通している農業委員、農地利用最適化推進委員、農地銀行推進員の方々に、地区別に意見聴取会を2回ずつ行い、実情にあつた農地活用についての意見をいただきました。その方向性を、次の4つに分類しました。

1 新規就農者及び認定農業者等の経営規模拡大のための候補地

近年増加傾向にある新規就農者や認定農業者へ集積するための候補地と位置付け、地域ごとの候補地情報について、農業委員会及び農地銀行と連携し情報の共有化を図り、ワンストップ支援窓口において情報提供に努め、有効活用につなげます。

2 農業生産法人・プロファーマー・農業参入企業等への候補地

大規模に農地を必要とする法人・プロファーマー・農業参入企業等へ集積するための候補地として、県及び市産業立地課へ農地情報の提供を行うとともに情報の共有化を図り、スムーズな

農地集積や農業参入企業の誘致に繋がります。

3 市民農園・シェア農地・都市間交流への候補地（市街化区域内農地を含む）

市民農園・シェア農地等の候補地として、市民の農業への理解の促進を図るための農業体験や学習の場とするとともに、都市住民との交流の場とするなど有効活用に繋がります。

4 開発に伴う代替地等の候補地

営農意欲が高く、代替地を求める農家への候補地として、関係機関への情報提供を行います。

このように、耕作放棄地の現地調査と地域ごとの意見聴取を基に、再生農地及び耕作放棄地化が危惧される農地の活用の方角性として4つのゾーンに分類しました。

今後は、耕作放棄地の再生に積極的に取り組み、地域の実情にあつた担い手に農地を集積するなど、生産農地の確保及び農地の荒廃の未然防止に努めてまいります。

表紙写真の紹介

女性農業者へのインタビュー

菊島 和さん（表紙上）

農業をはじめたのはいつからですか？

平成24年春に専門学校を卒業し一度東京で就職しましたが、数年後甲府市で就農しました。

農業をはじめた理由は何ですか？

東京の専門学校での修学時に、実家の農業の形態を客観的に見て、農業をしながら季節と共に生きることに魅力を感じたのがはじまりです。

苦労していることはありますか？

常に、作業性・効率性を考えて作業をすること、知人と予定が合わないこと、スケジュールが組みにくいことです。「食」に関わることで、やりがいがあり、人間らしい生活ができてうれしいです。

将来的に（農業について）やりたいことや要望したいことはありますか？

リニアが通ることや社会情勢の変化など時代にあわせて、農業を変化させたいと考えています。今までと同じスタイルでは厳しいと思い、栽培する種を変えることも考えています。

農業を取り巻く環境について改善してほしいことはありますか？

農協で茄子の選別機を導入してほしいです。選別機を通し、箱詰め作業は各農家ですることによって、品質維持向上が見込まれ、価格の安定にもつながると思います。



農業委員会からの

お知らせ

TEL 055(237)5892

農地の利用状況
調査を行います

9月に、市内の全農地を対象に、現地調査を行います。

各地域の担当調査員による、農地への立ち入りや聞き取りなどの際には、ご理解とご協力をお願いします。



この調査は農地法に規定されており、毎年実施しています。この調査で見つかった遊休農地の所有者に対しては、利用意向調査を送付します。遊休農地の今後の利用について、貸付希望や

耕作予定等を文書でお尋ねします。

農地台帳調査票の
依頼について

農業委員会では、郵送による農地台帳調査を行っています。この調査は、農家の方々の農業経営の現況や家族構成等を把握し、農地の貸借資料や証明書の発行等に役立てる為に行います。農地台帳調査票が送付された方は、現況をご記入のうえ、同封の返信用封筒で指定の期日までに必ず提出してください。対象となる農家の方々の、ご協力を宜しくお願いします。

農地銀行を
ご利用ください

農地の貸し借りを希望する方は、農地銀行をご利用ください。（但し、農地は市街化区域を除く区域に限ります）
なお、申請書類の受付は、

毎月10日（休日の場合はその前日）が締切りですのでご注意ください。

農業者年金に
ご加入ください

農業者年金は国民年金だけでは不十分な生活費を、年金の形で受給できる農業者の制度です。

★加入者条件★

- ・国民年金第1号被保険者
- ・年60日以上の農業従事者
- ・20歳以上60歳未満の方
- ・国民年金付加年金に加入の方

詳細はお近くのJA本支店か農業委員会事務局へ

農業委員・農地利用
最適化推進委員の
改選が令和2年度に
行われます。

現在任期中（令和2年7月30日）である農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が行われます。任期は3年間です。

表紙写真の紹介

女性農業者への
インタビュー

村松 梢さん（表紙下）

農業をはじめた理由は
何ですか？

最初は夫の方が農業に興味を持っていました。農業で生計を営んでいくことは大変な事だと思いますが、高齢化が進んで離農者が年々増加していることもあり、大事な職業だと思いました。

苦労していることはありますか？

営農してみると、農業は植物の生長や天候などを見ながらそれに応じて作業を考えて決めていかなければいけないので大変です。

将来的に（農業について）やりたいことや要望したいことはありますか？

高品質なモモやブドウを生産できる生産者になりたいです。現在は農協出荷がメインですが、贈り物用にもたくさん注文し

てもらえるようになりたいです。

農業をはじめたのはいつからですか？

平成26年に県立農業大学校の週末農業塾に参加し、平成27年～平成28年には農業関係アルバイトをしました。平成29年に同校の職業訓練課にて訓練を経て平成30年に自営を開始しました。

農業を取り巻く環境について改善してほしいことはありますか？

訓練課を終了した後はアグリマスター制度を利用して引き続き研修先の農家さんの元で教わりながら自営を開始することができたので本当に心強かったです。応援してくださる農家さんや家族がいてくれる事がありがたいです。



平成31年度

甲府市への

意見書に対する回答

農業委員会が平成30年10月12日に甲府市農業施策に對して行つた意見書に對する回答が令和元年5月30日に甲府市からありました。

担い手の育成支援について

農業の持続的な発展のため、担い手の確保・育成に努めてください。特に移住新規就農者は、住居や作業場等の営農環境の整備が困難なので、空き家対策課と連携し定住者の確保を要望します。

農業体験婚活ツアーやSNS等を活用したPRの継続した実施を要望します。

「農業者向け講習会や経営相談の実施」「各種支援事業の案内や相談・指導」など、甲府市版『農業塾』の開設を要望します。

(市からの回答)

空き家対策課と連携を図りながら、ワンストップ支援窓口にて情報提供を行い、

各種相談にも対応します。

また、担い手確保の一環として農業体験婚活ツアーを継続して行うとともに、各方面と協働・連携し、さらなる支援施策について検討します。

基盤整備等の推進について

リニア駅周辺整備の開発による農地の代替地については、地元関係者とのコンセンサスをしっかりと取れるよう、市から県に對してより一層強い働き掛けを要望します。

増坪自動転倒堰の改修問題は、土地改良事業による実施を検討するとの前向きな回答があつたことから、一日も早い建設を県・国等へ強く要望します。

近年頻発するゲリラ豪雨により大規模な農業災害が危惧されるため、老朽化した農道・用排水施設の修繕を進めるように要望します。

穂池の堰は、警報が出てからの作動では濁川が氾濫している可能性があるため、雨量による早期作動ができるよう関係機関に働きかけを要望します。

(市からの回答)

リニア駅周辺整備に伴う農地の代替地確保は、事業主体のJR東海や県に對し、地域の皆様と十分な対話や一層丁寧な対応を強く求めます。

増坪堰の改修は、「甲府市農業施設整備方針」で、整備が必要な主要農業施設に位置付けたので、計画的に実施する予定です。他の老朽化した農業用施設も順次修繕を実施します。

穂池排水機場の稼働は、台風など大雨が予想される際は、管理者の国土交通省に對し、河川の水位等の状況を注視する中で、迅速な稼働をする様働き掛けをします。

有害鳥獣対策等について

イノシシ、シカ等の害獣による農作物被害が多発するため、侵入防止柵の設置を早期着工するとともに、捕獲申請から許可までの期間短縮を要望します。また、ハクビシンやアライグマによる農作物被害も増えているので、捕獲檻の増加を要望し

ます。

(市からの回答)

既に侵入防止柵の設置を進めています。防護効果の検証を行うとともに、被害状況を見ながら今後の導入を検討します。また、有害鳥獣の駆除は、被害の連絡後、現地確認から捕獲檻の設置までをその日の内に完了するよう努めています。更に、小型獣については甲府市鳥獣対策実施隊と協議を重ね、より効果の高い捕獲檻の設置を進めています。

中型捕獲檻整備状況

平成29年度	7基
平成30年度	17基

その他について

(市への要望)

農業センターの貸し出し農機具に、中山間地で利用可能な農機具の導入や、耐用年数に促われずに更新時期を早めるなどの対応を要望します。

(市からの回答)

使用頻度を考慮しながら毎年新規購入や修理を行っています。

(市への要望)

甲府市の農業の魅力を知ってもらうため、旬の野菜・果物、イベント等様々なメディアでの情報を発信するとともに、収穫体験の呼び込み等を積極的に行う事を要望します。

(市からの回答)

様々なメディアを活用し、本市農産物のPRや収穫体験等の情報を発信する中で、新たに本年度よりSNSの利用を開始します。

(市への要望)

北部山付地区では持続的な農地利用が危惧されているので、各種企業の農業分野への参入や市民農園など、農家以外の農地活用を積極的に進めるように要望します。

(市からの回答)

昨年度「甲府市農地再生方針」を策定したので、この方針に基づき、農家だけでなく農業参入企業による農地活用をさらに進めます。

農政情報コーナー

認定農業者制度 について

認定農業者制度とは、農業者が農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に示された農業経営の目標（甲府市においては年間労働時間1800時間以内、農業所得550万円以上）に向けて作成する、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を、市町村が認定するものです。認定を受けた農業者は、低金利の制度資金が活用できるとともに、農地集積を各関係機関が協力し積極的に支援します。また、経営改善に向けた取り組みを支援するため、先進地への視察・先進経営体の講演・農業簿記など様々な研修会を開催しています。

問 就農支援課

TEL (241) 5616

プロファーマー 認定制度について

本市では、これからの農業の目指すべき方向を示し、それを達成する具体的な手段を明確にすることを目的に、平成30年10月に、「甲府市農業振興計画」を策定しました。

本計画では、『「稼ぐ農業」の育成と拡大』を基本方針のひとつに掲げており、本市農業を牽引する稼ぐ農業者を「プロファーマー」として認定し支援施策を集中させ、育成と拡大を図ってまいります。プロファーマー認定制度は、農業経営の拡大に意欲的な農業者が作成する5年後を目指した農業経営発展計画を市が認定す

るものです。認定基準としては、個人経営体、法人経営体、企業経営体ごとに一定以上の売り上げを目指すとともに、本市農業の維持・発展や、新規就農者をはじめとする担い手の育成に対する取り組みなどを総合的に判断し、審査会の意見を聴取する中で認定を行います。

プロファーマーへの 支援策について

本市農業を牽引するプロファーマーに具体的な支援施策を集中させ、育成・拡大を図ってまいります。まず、「甲府市プロファーマー経営発展支援事業補助金」を創設し、経営発展のために行う農業機械・施設の整備や、AIやIoTなどの最先端農業機械・システムの導入、農

業技術の向上・経営高度化のための研修等に係る費用について、予算の範囲内で事業費の2分の1以内を補助します。

今後につきましても、経営高度化のためのセミナーの開催や、6次産業化のためのプランナーの派遣などの支援策を検討してまいります。

問 就農支援課

TEL (241) 5616

2020年 農林業センサスが 実施されます

○農林業センサスとは？

農林業センサスは、農林業を行なっている方を対象に5年に1度、農林業・農山村の実態を全国的に調査する、重要な統計調査です。

○調査の期日

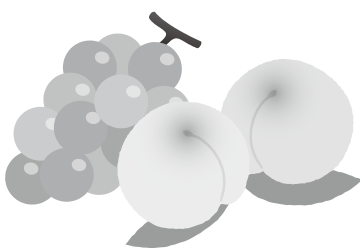
調査は、令和2年2月1日現在で実施されます。

○調査方法

山梨県より任命された調査員によって、令和2年1月中旬から2月にかけて調査票の配布・回収を行いますので、調査員が訪問した際には、調査票への記入並びに提出についてご協力をお願いします。

問 農政課

TEL (268) 4833



祝・令和元年度 春の黄綬褒章受賞 おめでとうございます

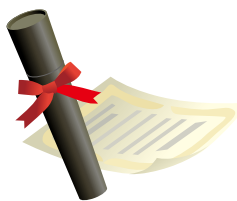
ございます

小澤 博 様



令和元年度の春の黄綬褒章を、小澤博さんが受賞されました。

コメ栽培が主流の旧中道町に果樹栽培を先進的に導入。平成26年1月から平成30年1月まで山梨県果樹園芸会の代表理事会長としてご活躍なされ、第1期農地利用最適化推進委員としてもご尽力いただいています。



甲府ブランドの 販売促進について

○本市では、ぶどう、もも、なす、スイートコーン等の産地が形成され、系統出荷による安定した販路が確保されています。このような土台を活かして、販路を拡大させていくため、ブランドの強化に取り組んでいます。

○これまでに市内で生産された11品目の農産物をブランド認定しており、ポスター・パンフレットの作成や首都圏でのPR活動などにより、認定農産物の情報を広く発信してきました。



甲府之証 プラム 大石早生

○今後も、本市独自のブランド農産物のさらなる浸透、

定着によりブランド力の強化を図っていくため、認証品目の充実や品質向上に取り組むとともに、マッチング等による新たな販売先の開拓などの支援や、首都圏での販売促進活動を行い、販路の拡大を図ってまいります。



首都圏での販売促進活動

問 農政課

Tel (298) 4833

第46回甲府市 農林業まつり

「農林業と市民とのふれあい」と「地産地消」をテーマに、第46回甲府市農林業まつりを開催します。

旬の農林産物や特産物の

販売のほか、大根の収穫体験、野菜釣り、木工細工体験などの多彩なイベントを行います。

また、本市の花ナデシコや、甘酒・麦茶の無料配布も行われます。(数量限定)



大根収穫体験

「甲府大好きまつり」との同時開催となり、山車や音頭などのパフォーマンスで大いに賑わいます。是非お越しください。

◆日時 10月26日(土)

午前9時～午後4時

◆会場 小瀬スポーツ公園

問 農政課

Tel (298) 4833

人・農地プランの アンケートへの ご協力を

自分の農地を将来耕作できるのか、農地はどうすればいいのか、地域全体で考える人・農地プランのアンケートを最適化推進委員が主導で集落ごとに配付をしています。ご協力をお願いします。

問 農業委員会

Tel (237) 5892

編集後記

近年、新規就農者が目に付く。そんな人達にも、興味をもてるような記事もどんどん集め皆さんの話題の一躍になれるよう、そこからつながりができ大きな輪が出来たら嬉しいです。

編集委員 菊島 建

